

富士山麓で植林ボランティア体験のお手伝い

井上百合子

6 月 2 日(日)、晴。NTT 労働組合「植林ボランティア」、子供も交えて 40 名もの人たちが富士山南麓の植林地にやってきました。体験的ボランティア活動とのこと。「安全に・楽しく・ちょっと知的に」取り組んでいただけるように、一緒に楽しみましょうという気持ちで(じつはかなり緊張して)、中村華子さんを含めて 13 名で歓迎しました。午前中は植林作業、午後は観察会という予定で進め、なんとか満足していただけたかな…と感じることができ、私たちも楽しんだ 1 日でした。

○ 10:45 ~ 植林作業

(NTT バスの到着までに、苗木・ラベル・金網・杭などと道具類をそろえておいて、)身支度をととのえてから、「満喫コース」「ファミリーコース」の 2 つに分かれていただきました。「満喫」のほうは、昨年も来て今年も 2 度目という人や頑張って植えたい人、「ファミリー」のほうは子供づれの家族やのんびり楽しみたい人です。

植え方を見ていただいてから、苗木や道具などを持って植樹予定地へ移動しました。私は「満喫」のほうのお手伝いをしましたので、「ファミリー」より少し上まで登ったあたりです。

各々が適当な場所を選んでススキを刈って穴を掘り、「ミズナラ 1 本+ヒノキ 1 本」か「サワシバ 1 本+ヒノキ 1 本」の組み合わせ、または「ヒノキ 1 本」を植え、周囲にウサギ&ネズミよけの金網をめぐるらせて杭で固定、樹種名と植えた人の名前などを書いたラベルをつけます。「1 本植えたらもう満喫しちゃいましたよ～」と言う人がいるかと思うと、「ん？ 5 本植えた人がいるの？ じゃあボクももう 1 本植えよう」と言う人、「あと 10 分？ じゃ、10 分で植える！」と急いで苗木をもらいにくる人、木を見て森を見ず？ 道のまんなかになんか植えちゃった人、…みなさんそれぞれに満喫したようでした。

用意した苗木をほぼ植え終わって、ゆっくり植林地を周回して観察しながら下りました。

○ 13:00 グリーンキャンプ場へ移動、昼食

○ 14:30 ~ 16:00 西白塚ハイキングコースを歩いて観察

西白塚の駐車場～カエデ広場～火口をほぼ 1 周～ブナ広場～駐車場、というコースを歩きました。1 時間半でどれだけ楽しんで観察できるか…あまりゆっくりはできません。じつは、5 月に皆で歩いて見所をチェックして中村華子さんの講習も受け資料もいただいて、しっかり準備をしていたのですが、ガイドするというのは難しいものだと言いつつ、冷や汗もかいたことでした。

私は傍島さんと 2 人で小学 3 年生と 1 年生の女の子を含む 9 名の方々をご案内しました。

歩き始め・・・

西臼塚は、ミズナラやブナの大木を含む自然林と植林の両方が見られるところですが、歩き始めてすぐに堂々たるミズナラに出会いました。ほんものの自然林の姿に「おお～」と感嘆の聲が上がります。それから常緑針葉樹がまとまって生えている人工林を通りながら樹皮をシカに食べられてしまったウラジロモミを見たり、苔むした倒木の上にブナの実生をみつけたり、ふわふわの苔に触ってみたりしながら歩きました。「ブナの赤ちゃん」もブナの実も、子供たちがすぐに覚えて、たくさん見つけてくれました。子供たちがメッチャ元気で、なんとも賑やかなグループでした。

「ドーナツの木」と名づけた木は、倒木をまたいで育ったのち倒木が朽ちたので、リング状の円い穴があいた形になったものです。このあたりでは倒木更新の木が多く見られますので、倒木更新で育った木を探したり、シカに齧られたキハダの内皮を味見して「すっごく苦いけどイヤな苦みではない」「薬になるものはイヤじゃないのかも」などと感じたり、カエデ広場ではブナの木が水を集める仕組みに「なるほど～」と感心したり、親ブナの下に赤ちゃんブナが生えてるのを見たり、伐採後の切り株の年輪を数えたり、いろいろ楽しみながら登りました。

火口周辺・・・

山頂では、真ん中のくぼみは火口だということ、ミズナラ巨木がご神木であること、「塚」という名は小さな寄生火山についていること、ミツマタの木の皮の繊維が非常に強いので丈夫な紙ができること、などなど、みなさん「納得～！」といった表情で見て楽しんでいました。

下りの道で・・・

下りにかかって、まずブナ広場へ。ブナやカツラの大木のある、もとスコリア原だったところです。スコリアを手にとって見てもらったり、ザクザクしたスコリアは水はけがよすぎるくらいよいので雨がみんな富士山にしみこんでしまって、山麓で湧水として出てくる…などの説明もしましたが、最初是一緒にかたまっていたグループが、各々が見たいところをじっくり見ているうちにぼらぼらになって、ほんの数人に聞いてもらうだけになってしまったりしていました。でも「集まってくださ～い」なんて言うより、自然でいいと思ったので、成り行きまかせて集まったりバラけたりを繰り返しながら、みんなが楽しむことを第一にしました。

大きな切り株に苔がびっしりついて、そのなかにさまざまな木の実生が生えているのを見ました。切り株更新の始まりです。倒木や切り株の上は殺菌力もあり保水力もあるので赤ちゃんが育ちやすい、などの「まとめと復習」をしました。

駐車場に帰り着くすこし手前のあたりでは、同じ方向に向いて倒れたカラマツがたくさん見られます。1996年に駿河湾から上陸してここを通過していった台風で倒れたものです。私たちの植林地もこの台風の被害がもとでススキの原になってしまったところなので、ちょっとだけそんな説明もしました。

駐車場に全員無事にたどりついて、ほっとしました。そして、2人の小学生のお母さんが、「すっごく楽しかったです～。森に癒された感じがしました」と言ってくれたとき、思わず「ほんとですか～？ よかったです～！」と言ってしまい、同時に、うわぁ～っ！と喜びがこみあげてきました。